

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 高齢者における救急車利用の判断過程に関連する社会的要因
	●研究の対象 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月の間に浜松医科大学附属病院の救急部を受診していただいた年齢が 65 歳以上の高齢者、約 300 名が対象です。
	●研究の目的 高齢化が進むにつれて、救急車の利用は増えています。しかし、救急医療の体制や人員には限りがあるため、「どのようなときに救急車を呼ぶべきか」はとても大切な問題です。これは、医療を提供する側だけでなく、患者さんにとっても重要な判断です。 そのため、患者さんが「救急車が必要だ」と感じる場合と、医療の専門家が「救急車が必要だ」と考える場合が、できるだけ一致するようにしていくことが大切です。 これまでの研究では、救急車の利用には年齢や性別、収入などが関係していることが分かっています。しかし、これらの要因を変えることは簡単ではありません。また、患者さんと医療者では、どうしても医療に関する知識に差があります。そのため、患者さんが「救急車が必要」と思って利用した場合でも、医療者から見ると別の受診方法（たとえば通常の外来受診など）が適していることもあります。このようなケースで、より適切な受診方法が広く知られることが重要です。 そこで本研究では、高齢の方が救急外来を受診したケースを振り返って分析し、救急車を使うと判断したことに関する社会的な背景などを明らかにすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 年齢、性別、身長、体重、同居人の有無、ADL、職業歴、喫煙歴、飲酒歴、救急外来の来院経路、救急外来の受診時間、主訴、疾患、治療強度等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 健康社会医学講座 尾島俊之
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人 浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合であっても、使用する情報は特定の個人を識別できる状態ではないため、使用や提供の停止に応じることができません。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。
《情報の開示》	この研究は、特定の個人を識別できないように加工した情報を用いて行うため、個人の結果について情報の開示を希望された場合、申し訳ありませんが対応することができません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 健康社会医学講座 担当者： 尾島 俊之 TEL： 053-435-2333

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	E-mail: dph@hama-med.ac.jp
--	--